

# 令和5年教育福祉常任委員会概要記録

(会期中)

○会議日時 令和5年6月8日(木) 午前9時30分～午前10時10分

○場所 議会特別会議室

委員の出欠状況 (出席=○ 欠席=×)					
職	出欠	氏名	職	出欠	氏名
委員長	○	伊藤陽一	副委員長	○	山下みゆき
委員	○	鈴木一司	委員	○	加藤好雄
〃	○	相澤康男	〃	○	大島昌弘
			出席 6人 欠席 0人		

説明のために出席した者			
職	氏名	職	氏名
健康福祉部長	福田充男	教育次長	近藤善昭
社会福祉課長	仙頭明久	こども福祉課長	浅香浩幸
高齢福祉課長	金田欣明	健康増進課長	川嶋恵美子
教育総務課長	高山正勝	学校教育課長	石島直
生涯学習文化課長	根本宣明	文化財課長	山口耕一
スポーツ振興課長	伊藤隆行		

事務局			
職	氏名	職	氏名
議会事務局長	五月女治	議事課長	篠崎正代

○議員傍聴者 坂倉司議員、石川信夫議員、村尾光子議員

○一般傍聴者 なし

1. 開会

2. あいさつ 伊藤陽一 委員長

3. 概要録署名委員 加藤好雄 委員

4. 事件

(1) 付託議案等審査について  
資料に基づき補足説明

議案第29号 令和5年度下野市一般会計補正予算(第2号)【所管関係部分】

《質疑・意見》

**[歳入]**

**17款2項6目 教育費県補助金**

- 大島委員：小中学校費補助金について、バス安全装置装備支援事業に70万4,000円が交付されるが、装置をつけるにあたって送迎に支障がないか伺う。
- 教育総務課長：国分寺小は業務委託で2台、南河内小中学校はリースで6台設置を予定しているが、設置は児童の送迎に支障がない形で運行の合間や土日などに業者で設置する形になる。業務や児童の送迎に支障ない形で設置のお願いをしたいと考えている。
- 伊藤委員長：年度内完了予定ということでよいか。
- 教育総務課長：南河内小中学校については、業者から6月中の設置予定、国分寺小学校については、現在委託業者の方で機種を選定中。

**[歳出]**

**3款1項1目 社会福祉総務費**

- 鈴木委員：住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業は、当初予算に計上がなく、国庫補助金の交付決定による補正だと思うが、1世帯あたりの金額と世帯数を伺う。
- 社会福祉課長：1世帯あたり3万円、4,500世帯を見込み計上している。
- 鈴木委員：非課税世帯の増減を伺う。
- 社会福祉課長：非課税世帯への給付金は令和3年度に1回、令和4年度に2回実施しており今回4回目となるが、世帯数はほぼ横這いで推移している。
- 加藤委員：過去の給付率を伺う。
- 社会福祉課長：約8割に給付している状況である。
- 加藤委員：残り2割は給付されていないが、このままでいいのか見解を伺う。
- 社会福祉課長：残りの2割については、例えば学生等のみ世帯で親の扶養になっている方など、給付の対象外となった方も多く含まれており、給付を受けていない方は少ない状況である。
- 加藤委員：本人が認識していると理解する。

**3款1項2目 障がい福祉費**

**3款1項3目 高齢者福祉費**

- 伊藤委員長： 障がい福祉施設物価高騰対策支援事業と介護保険施設等物価高騰対策支援事業について、支援の内容を伺う。また、施設によって規模が違うが支援内容はどのように決めるのか。
- 社会福祉課長： 障がい福祉施設については、食事の提供を実施しているサービス施設に対し、高騰分の食材料費を支援するため、基準日における利用者数と物価高騰分の単価等により算出した補助金を交付するものである。
- 高齢福祉課長： 介護保険施設は施設の定員をもとに算出している。内容は障がい福祉施設と同様である。
- 加藤委員： 資料では2分の1の補助となっている。半分の算定で物価上昇分をすべて補填しているわけではないのか。
- 社会福祉課長： 1年間の見込額の2分の1であり、半年分程の意である。

### 3款1項 社会福祉費

- 相澤委員： 国のエネルギー食品価格等の物価高騰に伴う子育て支援で小中学校の給食費支援が挙げられているが、今回の補正に計上されていない理由を伺う。
- 教育総務課長： 学校給食の補助については、今年度の当初予算で米の現物給付として市で支払う支援をしている。この事業に今回の交付金が該当するかは他の事業メニューと調整をしている。
- 相澤委員： 該当した場合、米の現物給付に充てるということで理解してよいか。
- 教育総務課長： 他の事業へ充当して交付金の残があれば、米の現物給付についても財源振替で充てることも今後検討したい。
- 相澤委員： 食糧状況は切迫している。エルニーニョや、ウクライナのダム決壊でどうなるか分からない。米の現物給付は良いことだと思う。

### 3款1項 社会福祉費

- 相澤委員： エネルギー食料等の価格高騰対策について、子ども食堂に対する補助は考えているか。
- こども福祉課長： 国の制度に推奨メニューとして入っているが、こども関連施設への補助については、まだ県の方針が明かではない。昨年も県補助制度が遅れ、先行した市町補助との重複や手戻りが生じたと聞いている。すべての市町は、今年度も県の動向を伺っている。県の対応が出たら内容精査し検討したい。

### 4款1項2目 予防費

- 大島委員： ワクチン接種について、保存期間が過ぎ廃棄した事例がある。本

市の取り組みについて伺う。

- 健康増進課長： ワクチン接種についてはどれくらい必要か、医療機関ごとに取りまとめ健康増進課に報告いただいている。毎週1回定期的に配送しているため、本来廃棄するほどのワクチンは届けていない。
- 大島委員： 本市では適正に接種されているとのことで安心した。コールセンター運営について、他の委託先で過大請求等があったようだ。本市ではコールセンターの運営状況も適正に管理していると思うが、インターネット予約とコールセンター予約の比率はどのようか。
- 健康増進課長： コールセンターへの電話予約とWEBでのインターネット予約があるが、スマホの普及率も高いため半々の状況である。
- 加藤委員： ワクチン接種したい人が少なくなっている。市の接種率を伺う。
- 健康増進課長： 全体の対象者数は5万8,067人であり、接種率は5月1日現在、1回目84%、2回目83.82%、3回目72.24%、4回目52.95%、5回目27.69%となっている。65歳以上の高齢者は努力義務としており、対象者数は1万5,565人。1回目96.58%、2回目96.48%、3回目94.07%、4回目87.07%、5回目72.89%となっており、若干減ってきている状況である。6月1日現在の数字は未だ出ていない。
- 山下副委員長： コールセンター委託が高額の理由を伺う。
- 健康増進課長： コールセンターの業務内容として、オペレーターによる電話受付は、現在6回線に対応しており、接種予約の受付やデータ入力を土日祝日も含め行っている。業務責任者の業務としては、オペレーターの管理監督やクレーム対応などを行っており、毎月の業務実績として月次報告をいただいている。また、中国語、英語、ベトナム語での外国語対応などに人件費がかかり、それが高額の原因となっている。

## 10款1項2目 事務局費

- 相澤委員： 南河内小中学校のスクールバスの納車時期を伺う。
- 学校教育課長： 三菱ふそう社製のバス6台が納車になり、6月5日から運行している。
- 相澤委員： 安全装置は、今運行しているバスに設置するのか。
- 学校教育課長： 今運行しているバスに設置となる。納車時点で機材が確保できなかったため今月中を目途に設置予定となっている。
- 相澤委員： 校章はついているのか。
- 学校教育課長： 校章はないが、黄色で「スクールバス」と両脇に「南河内小中学校」と入った白いバスである。

## 10款2項1目 学校管理費

- 加藤委員： スクールバス安全装置について、バスの台数から1台20万円くらいで、これから機種選定とのことだが、安全管理体制はどのような方針で進めるのか。マニュアルや手順、周知、保護者との情報共有など安全管理の取組について伺う。
- 教育総務課長： 国からマニュアルが出ており、今後徹底を図っていきたい。現時点ではマニュアルを参考に運行会社で車内の置き去りの確認、点検を行っている。
- 学校教育課長： 保護者対応と欠席連絡については、集合時間に間に合わない場合、保護者の責任で学校まで連れてくるのが大原則で、集合時間を過ぎた時点でバスは出発する。人数確認は、バスの乗車と降車時に実施している。

**10款2項1目 学校管理費**

**10款3項1目 学校管理費**

- 鈴木委員： 小中学校の庁用器具購入費の内容を伺う。
- 学校教育課長： 新型コロナ対策の国補助金を活用し、CO2モニターや空気清浄機、サーキュレーターなど換気対策備品を各学校の実情に応じて購入する。

採決の結果、全員賛成により可決すべきものと決す。

[要望すべき事項]

なし

(2) その他

なし

5. その他

- ・南河内小中学校スクールバス納車について

閉 会